

バコパ ブルートピア/スノートピア *Bacopa*

学名: *Sutera cordata*

種子粒数の目安: 約1,200(マルチペレット)粒/グラム

プラグ生産ステージ

培地

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。土壌 pH は 5.5 から 6.0、また EC 値は 0.75mmhos/cm(2:1)以下が適正

プラグトレイのサイズ

288 穴、128 穴、あるいは同等のトレイサイズが適当

播種

パーミキュライトなどによる播種はしないでください。播種後はトレイをウォータートンネルに通すか、ミストで培地に必ず水分を含ませるようにします。これが後のペレットの融解の段階で有効にはたります

ステージ 1 - 発芽は 4 日ほど(ホワイとは 2,3 日長く要する)

発芽温度: 20-23°C

光条件: 100 ルクス(10f.c.)以上必要

水分: やや湿潤(level 4)の条件を維持する

相対湿度: 子葉が発生する頃までは相対湿度を 95-97% に維持する

ステージ 2

温度: 昼間は 18-24°C、夜間は 15-18°C が適正

光条件: ステージ 2,3 を通して 26,900 ルクス(2,500 f.c.)

水分: ステージ 2,3 を通して、培地は中くらい(level 3)かやや湿潤(level 4)の条件を維持する

肥料: レート 1(100ppm(N)以下、pH は 5.8 から 6.2、EC 値は 0.7mmhos/cm)で、リン酸分の低い硝酸態の肥料を与える

ステージ 3

温度: 昼間は 18-24°C、夜間は 15-18°C が適正

肥料: 肥料をレート 2(100ppm(N)、EC 値が 0.7-1.2mmhos/cm)の濃度に上げる。培地の pH は 5.8 から 6.2、また EC 値は 0.5-0.7mmhos/cm (2:1)を維持

ステージ 4

温度: 昼間は 15-21°C、夜間は 13-15°C が適正

光条件: 温度条件が維持されるなら、53,800 ルクス(5,000f.c.)まで上げて可

水分: 培地は中くらい(level 3)を維持。苗は一度しおれると容易には回復しないので、枯らせないように注意する

肥料: 上記ステージ 3 と同じ

矮化剤: 苗の出荷後、すぐに移植が計画されているのであれば矮化剤は不要

※光条件の不足にともなう矮化剤の使用: 北欧のように日照条件が不足しがちな土地では、育苗の後期において、苗の徒長排除や苗色をよくするために B ナインを 640-950ppm 散布することで効果が確認されている。しかし、日本のような低緯度地域ではとくには不要である

鉢上げから出荷まで

コンテナサイズ

1 ペレットからの苗の鉢上げは、9cm あるいは 10.5cm のポットサイズが適当。25cm 前後のコンテナに上げるには、プラグを 5,6 本が適当

培地(用土)

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。土壌 pH は 5.8 から 6.2 が適正、培地の初期の養分量は中庸に

温度

昼間: 15-24°C

夜間: 13-15°C

バコパは 15°C くらいの温度があれば生長はしますが、温度が低いと生育期間が通常よりも長くなるでしょう

光条件

健康な株に育てるため、適切な温度管理が可能であれば、葉焼けしない範囲で、できるだけ光にあてましょう

肥料

移植から 1 週間後、リン酸分の低い硝酸態の肥料をレート 3(175-225ppm(N)、EC 値が 1.2-1.5mmhos/cm)濃度で開始します。株の生育状況を見ながら、必要に応じてアンモニア態と硝酸態とをうまく使ってバランスを調整する。pH は 5.6-5.8 を、また EC 値は 1.5-2.0mmhos/cm の範囲を維持するようにする

かん水

極端な過湿、また乾燥しないようにする。花芽がとんでしまうので、苗を枯らせないように十分注意する

矮化剤(PGR)を用いた管理

北アメリカでの使用: 苗を移植した後、B ナインを 2,500ppm で 1 度、葉面散布したところ効果が確認されている

北欧での使用: 上記同様、B ナインによる 2,500ppm の葉面散布で効果が確認されている。さらに必要であれば、サイコセルを 375ppm 付与することで追加的な効果が期待できる

平均的な生産期間

播種から移植まで: 3-4 週

288 穴トレイでは平均で 3.5 週。128 穴を使うともう 2、3 日余計にかかる

移植から出荷適期(開花)まで: 4 から 6 週

播種から出荷適期(開花)まで: 10.5cm ポットで概ね 8-9 週。もっと大きなコンテナ(例えば、25cm に複数定植など)を用いた場合は 12-13 週を要する。生育の早晚は、基本的に作型(温度条件)に影響を受ける。そのため、暖かい時期を越す作型の方が、温度の低い時期の作がよりも生育期間は短い。

病例等

害虫: ホワイトフライに注意

病気: とくに報告例はなし

注意:

- 同品種を生産する場合は、ここで示されている栽培情報は基本的な参考資料としてお使いください。生産物は、気候条件や地理的な緯・経度、また作型の時期、ハウスの環境によって結果が異なることがあります
- 殺虫・殺菌剤、また矮化剤を用いる場合は、必ずガイドラインによる使用方法を遵守しましょう。当該の規定や条例のもとで、注意書きをよく読み正しく使用することが、使用者の責務です

注意点: EC 値(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、土を用いた配合では適し得ない場合があります。

PanAmerican Seed™

PanAmSeed.com

PanAmerican Seed Co.
622 Town Road
West Chicago, Illinois USA 60185-2698
630 231-1400
Fax: 630 231-3609

PanAmerican Seed Europe BV
Lavendelweg 10
NL-1435 EW Rijssenhou, Holland
+31 (0)297-383038
Fax: +31 (0)297-383036

™ および®は、アメリカ合衆国およびその他の国における Ball Horticultural Company の登録商標です

©2006 Ball Horticultural Company Japanese translation version
Originally printed in USA as PAS06193 1/07